

ずっと近くで、にいがたを想う。



## 2026年3月のガス料金について (見附地区)

2026年1月29日  
北陸ガス株式会社

北陸ガス株式会社は、2026年3月検針分に適用する従量料金単価を、別紙のとおり、2026年2月検針分に比べて、見附地区は1m<sup>3</sup>あたり+0.92円(税込)調整させていただきます。

これは、2025年10月～2025年12月のLNGおよびプロパン平均価格(貿易統計値)により算定された平均原料価格による原料費調整を行うものです。

また、電気・ガス料金負担軽減支援事業※の政府支援を踏まえ、原料費調整後の単価から1m<sup>3</sup>あたり18円の値引きを行います。

※詳細は経済産業省資源エネルギー庁「電気・ガス料金支援サイト」をご覧ください。  
(<https://denkigas-gekihenkanwa.go.jp>)

標準的なご家庭(月間のガスご使用量が38m<sup>3</sup>の場合)では、2026年2月適用料金と比べて1ヶ月あたり、35円(税込)の増額となります。

なお、2026年3月検針分に適用する料金につきましては、当社の本社および支社等の店頭での掲示や、検針時に各戸にお届けする「ガスご使用量等のお知らせ(検針票)」等で、あらかじめお知らせいたします。

以上

<お問い合わせ先>  
北陸ガス株式会社  
企画グループ 坂井  
TEL 025-245-2214

## 料金表（2026年3月）

- 一般ガス供給約款料金(各月のご使用量に応じてA・B・C・Dいずれかの料金表が適用されます)
 

2026年2月に適用する従量料金単価と比較した場合、1m<sup>3</sup>あたり+0.92円(税込)調整させていただきます。なお、基準単位料金に対して、▲26.36円(税込)調整して料金を算定いたします。

なお、従量料金には電気・ガス料金負担軽減支援事業の政府支援を踏まえた1m<sup>3</sup>あたり18円の値引きが反映されています。また、基本料金は変わりません。

見附地区(43メガジュール/m<sup>3</sup>)

(税込)

	月間使用量区分	基本料金	従量料金単価 (1m <sup>3</sup> につき)
料金表A	0m <sup>3</sup> ～19m <sup>3</sup> まで	753.50円	150.49円
料金表B	19m <sup>3</sup> 超～97m <sup>3</sup> まで	1,159.40円	128.96円
料金表C	97m <sup>3</sup> 超～340m <sup>3</sup> まで	1,644.50円	123.96円
料金表D	340m <sup>3</sup> 超～	3,911.60円	117.30円

### 【ガス料金の計算式】

1カ月のガス料金 = 基本料金 + ガス使用量 × 従量料金単価  
(上記計算の結果、1円未満の端数が生じた場合は端数を切り捨てます)

## 標準家庭における影響

見附地区(43メガジュール/m<sup>3</sup>の場合、税込)

ご使用量	2026年3月料金	2026年2月料金	増減額	増減率
38m <sup>3</sup>	6,059円	6,024円	+35円	+0.58%

※標準家庭のガスご使用量は、当社におけるご家庭1件・1カ月あたり平均(2016年度～2020年度の5年間平均)に基づいております。

## 平均原料価格と調整単位料金の算定について

	2025年10月～ 2025年12月原料価格	2025年9月～ 2025年11月原料価格	基準平均原料価格
LNG平均価格 (貿易統計値)	83,930円/t	82,650円/t	94,760円/t
プロパン平均価格 (貿易統計値)	77,210円/t	76,410円/t	93,360円/t
平均原料価格	74,670円/t	73,560円/t	84,710円/t

## ■平均原料価格の算定

$$\begin{aligned}\text{平均原料価格} &= \text{LNG平均価格 (2025年10月～2025年12月貿易統計値)} \times 0.8303 \\ &\quad + \text{プロパン平均価格 (2025年10月～2025年12月貿易統計値)} \times 0.0646 \\ &= 83,930\text{円/t} \times 0.8303 + 77,210\text{円/t} \times 0.0646 \\ &= 74,674.845\text{円/t} \\ &\quad \downarrow (\text{10円未満四捨五入}) \\ &= 74,670\text{円/t}\end{aligned}$$

## ■原料価格変動額の算定

$$\begin{aligned}\text{原料価格変動額} &= \text{平均原料価格} - \text{基準平均原料価格} \\ &= 74,670\text{円/t} - 84,710\text{円/t} \\ &= \Delta 10,040\text{円/t} \\ &\quad \downarrow (\text{100円未満切捨て}) \\ &= \Delta 10,000\text{円/t}\end{aligned}$$

## ■調整額(1m<sup>3</sup>あたり)の算定

<見附地区>

$$\begin{aligned}\text{調整額 (値引き反映前)} &= \text{原料価格変動額} / 100\text{円} \times 0.076\text{円} \times (1 + \text{消費税率}) \\ &= \Delta 10,000\text{円} / 100\text{円} \times 0.076\text{円} \times 1.10 \\ &= \Delta 8,360.00\text{円/m}^3 \\ &\quad \downarrow (\text{小数点第3位以下の端数は切上げ}) \\ &= \Delta 8.36\text{円/m}^3\end{aligned}$$

\*原料価格変動額100円につき従量料金単価を1m<sup>3</sup>あたり0.08360円(0.076円に1.10(1+消費税率)を乗じた値)調整します。

$$\begin{aligned}\text{調整額 (値引き反映後)} &= \Delta 8.36\text{円/m}^3 - 18.00\text{円/m}^3 \text{ (政府支援による値引き)} \\ &= \Delta 26.36\text{円/m}^3\end{aligned}$$

上記計算の結果、

- 基準単位料金に対し、1m<sup>3</sup>あたり△26.36円(税込)調整します。
- 2026年2月に適用する従量料金単価と比較した場合、1m<sup>3</sup>あたり+0.92円(税込)調整させていただきます。